

■光能動部品標準化部会

概要

現在、種々の光能動部品が情報処理・光伝送システムなどの産業用機器をはじめ映像やオーディオなどの民生機器にも基幹部品として幅広く使用されている。このような状況において、光能動部品に関する標準化の推進は、機器の低コスト化への貢献とともに世界的技術競争に勝ち残りつつ産業の一層の発展を図り、技術の効率的利用の拡大を図るために必要不可欠である。光能動部品標準化部会は、光能動部品に関するアンケート等によって明らかとなったユーザの規格化ニーズが高い項目を優先してJIS化を進めるべく活動を行っている。

光能動部品関連のJISは、1981年度から光産業技術振興協会において実施された光伝送用光能動部品のJIS案作成を中心とした調査研究の成果を基として制定され、随時見直し・改正等が行われた結果、現在は37種類のJISが制定（改正を含む。廃止を除く。）されている。

部会開催予定

（5,6回/年度 開催予定）

（順不同）

参加メンバ
公立千歳科学技術大学
IGSコンサルティング
古河電気工業株式会社
NTT株式会社
住友電気工業株式会社
アンリツ株式会社
三菱電機株式会社
経済産業省
株式会社白山
一般財団法人日本規格協会